

令和7年第3回教育委員会議事録

開催日時 令和7年3月26日(水)

午前9時30分～午前11時5分

場所 八潮市役所 会議室4-2

出席者 教育長 井上正人
教育長職務代理者 加藤正道
委員員木下史江
委員員高橋洋一
委員員橋本珠美

事務局出席者 教育部長 千葉靖志
教育部理事 猪原誠一
教育部副部長 小林勝巳
教育部参事兼文化財保護課長
高山治
教育部副部長兼学務課長 山内修
教育総務課長 松本啓介
新設小学校準備室長 柳町貴栄
新設小学校準備室主幹 古川剛
社会教育課長 倉林昌也
小中一貫教育指導課長 和田進
教育総務課庶務係長 関根郁也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和7年第2回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議題

議案第6号 [説明者 松本教育総務課長]

八潮市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

八潮市教育委員会事務局組織規則(平成2年教委規則第2号)の一部を別紙のとおり改正したいので、議決を求める。

令和7年3月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 令和7年度の組織変更に伴い、教育委員会事務局の所掌事務に係る規定の整理を図るため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第7号 [説明者 松本教育総務課長]

八潮市教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令について

八潮市教育委員会事務専決規程(昭和63年教育長訓令第2号)の一部を別紙のとおり改正したいので、議決を求める。

令和7年3月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 令和 7 年度の組織変更に伴い、教育委員会事務局の専決事項に係る規定の整理を図るため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 8 号 [説明者 松本教育総務課長]

八潮市立学童保育所設置及び管理条例施行規則の制定について
八潮市立学童保育所設置及び管理条例施行規則を別紙のとおり制定したいので、議決を求める。

令和 7 年 3 月 26 日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 八潮市立学童保育所設置及び管理条例の施行に関し、必要な事項について定めたいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 9 号 [説明者 山内教育部副部長兼学務課長]

八潮市立小、中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

八潮市立小、中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に別紙の者を委嘱したいので、学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 23 条第 3 項の規定により議決を求める。

令和7年3月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 前任者が令和7年3月31日をもって任期満了となるため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○橋本委員

耳鼻科の先生と眼科の先生を一年度ずつ入れ替えていると説明がありました
が、これはどのような理由ですか。

●山内教育部副部長兼学務課長

学校医の先生が少なく、現状全ての学校にそれぞれの先生を配置することが
できないため、年度ごとに順番を変えて対応している状況です。

○木下委員

視力検査は学校医の先生が行っているのでしょうか。

●猪原教育部理事

視力検査は各学校の養護教諭が行っております。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育部長

(1) 令和7年第1回八潮市議会定例会一般質問について

2名の議員から質問がありました。

まず、金子議員の質問は、「市長の施政方針について」ということで、「心豊かな青少年を育む環境づくりについて」のご質問でした。

答弁といたしましては、第5次総合計画に位置付けられている青少年に係る主要事業の計画期間の検証については、家庭、学校、地域、青少年関係団体等の連携協力をいただいて、共生・協働、安全・安心の基本理に基づき実施し概ね目

標に近い成果を残せていると考えております。今後も様々な青少年事業を実施し地域全体で青少年を育てる環境づくりに努めていきたいと答弁いたしました。

二木委員からは、「学校図書館の計画的な整備について」ということで、「図書の管理方法について」のご質問でした。

答弁といたしましては、学校図書館の図書につきましては、学校図書館図書廃棄規準や文科省の定める学校図書館図書標準等に基づき、標準蔵書数を考慮しながら適宜廃棄するとともに、図書原簿に隨時記録し適正な管理に努めていると答弁いたしました。

(2) 令和7年2月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について
新設小学校準備室関係で1件ございましたので、担当主幹から説明します。

●古川新設小学校準備室主幹

投書の内容は、「新設小学校の開設予定のニュースを目にした。載っていた写真には広い階段があり、もしこれが実際学校のような所にあった場合、避難の時とても危険だと思う。学校名も地名が入らないとわかりにくいと思う。」とのことです。

こちらは、2月に新設小学校開校準備だよりを発行したので、そちらをご覧いただいての投書になると思います。回答を要さないものなので業務の参考いたします。

広い階段というのは1階と2階を繋ぐ大階段になりますが、文部科学省では新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について公表しており、教室だけに捉われず学校施設全体を学びの場として捉えるよう提言されております。

この大階段は子どもたちの発表の場や意見交流、憩いの場になることを想定しています。新設小学校の特徴的な場所になっておりますが、当然安全性は確保しております。また、階段自体も複数設置しておりますので、避難が必要になった際は適切に対応していきたいと考えております。

また、もう1点の学校名のご意見につきましては、現在学校教育審議会で審議をしており、3月28日に答申をいただく予定となっております。答申に基づき進めていきたいと考えているところでございます。

●猪原教育部理事

(1) 令和7年第1回八潮市議会定例会一般質問について

5名の議員から質問がありました。

まず、金子議員の質問は、「部活動の地域展開について」ということで、3点質問がございました。

答弁といたしましては、現在小中一貫教育指導課が中心となり進めている部活動地域展開についての現状を説明し、令和7年度よりハンドボール競技に関しては教員が中心ではありますが、試行的に地域展開をしていくと答弁いたしました。

次に、二木議員の質問は「学校図書館の計画的な整備について」ということで、2点質問がございました。

各学校の学校図書館の利用状況について説明し、学校の規模によっても差異があることを答弁いたしました。図書の選定についても、子どもたちのニーズを取り入れて配架していることを答弁いたしました。

次に、内田議員の質問は「非行防止教育について」ということで、2点質問がございました。非行の状況について答弁をいたしましたが、その後の再質問で包括的性教育についてご質問があり、学習指導要領には包括的性教育は記載されていないものなので、学校では学習指導要領に則り、理科や保健体育といった教科を中心に行っていることを答弁いたしました。

次に、朝田議員の質問は「スクールロイヤー（学校弁護士）について」ということで質問がございました。

県のスクールロイヤーや市の顧問弁護士への相談件数などについて答弁するとともに、現在、市としてスクールロイヤーの活用は行っておりませんが、今後検討していきたいと答弁いたしました。

最後に、鈴木議員の質問は「輝く子どもたちについて」ということで、この1年間の子どもたちの活躍を紹介してほしいとのことで、スポーツ面と文化面の活躍を報告いたしました。

(2) 令和7年度当初人事について

令和6年度末の一般教職員の退職について、小学校9名、中学校4名、計13名でした。令和7年度当初の初任者につきましては、小学校21名、中学校10名、計31名が配属予定です。他市町から八潮市に配属される教員は小学校8名、中学校6名の計14名です。市内異動教員は小学校8名、中学校5名、計13名、八潮市から他市町への異動は小学校7名、中学校5名、計12名です。初任者の配属人数は令和6年度よりも増加しました。

(3) 市内小中学校の様子について

教育委員の皆様、また、関係者の皆様のおかげで、大きなトラブルもなく、小中学校ともに無事に卒業式を執り行うことができました。ありがとうございました。

●松本教育総務課長

(1) 令和7年度ICT研修計画について

今年度も先生方のICT活用能力の向上のため、Googleの研修等を始めとした多くの研修を実施しましたが、来年度も同様に多くの研修を企画、予定しております。まず、来年度最初の研修として、令和5年度から実施しております、他市町から異動してきた先生方に対し、GIGAスクール構想の全体や八潮市のICT教育の現状等をご説明し、基本的な内容を理解していただくための「ICTスタート研修」を4月18日に開催する予定です。

その他にも、Googleの教育アプリケーションの使いこなしの基本研修となるGoogleコア研修、Googleサービスの活用について、中級以上のレベル保持者を対象とした研修、授業支援ソフトスクールタクト、電子ドリルeライブラリの操作研修、プログラミング教育研修等のほか、先生方が業務で使用する校務支援システムについても、年度当初に新任者・異動者向けの研修を実施するほか、シス

テムのデータの年度移行等に関する操作研修も年度末に予定しております。これらの研修の企画と実施を通して、来年度も引き続き先生方のサポートに努めてまいりたいと考えております。

（2）情報活用能力体系表について

資料にございます情報活用能力体系表は、令和5年度の小中一貫教育推進検討部会のICT部会において協議し、案としてまとめたもので、小中学校の9年間の間に身に着けるべきICTのスキルを基本的な操作スキル、問題解決・探求における情報スキル、プログラミング、情報モラル・情報セキュリティの縦方向の4項目に分け、また、横方向に小学校低学年、中学年、高学年及び中学校の各発達段階に分け、それぞれの区分におけるスキルを具体的に示したものです。

この情報活用能力体系表は、令和5年度における成果として、1年前の令和6年第3回定例会でもご報告しておりますが、令和6年度にさらに検討を重ね、昨年度末時点では継続検討となっていたプログラミングのほか、情報モラル・情報セキュリティの項目についても身に着けるべきスキルを具体的に示しておりますので、完成形として改めてご紹介するものです。

この情報活用能力体系表を児童生徒のGIGA端末を使用した学習の達成基準として常に参考することで、各校の教育現場において実践的な取り組みに活用されるものと考えております。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

（1）第52回企画展「八潮はじまりのムラ」の実施結果について

今回の展示は、県東部15市町の文化財担当者で構成する東部地区文化財担当者会の調査研究成果を、管内の住民に向け報告するもので、発掘調査で検出した遺構や出土した遺物などから奈良時代・平安時代のくらしを蘇らせました。展示の中では、今現在、市内で一番古い集落の痕跡が確認されている八條遺跡の出土物も多数展示し、1,200年前の八潮の様子も紹介いたしました。

また、会期中の2月23日には、課職員1名を含む東部15市町の文化財担当者6名によるリレー講演会を開催し、様々な研究テーマから奈良・平安時代の実像に迫っていただきました。

会期中の観覧者数は1,789名、展示内容に対する感想も概ね好評で、これまであまり知られてこなかった古代の八潮周辺地域についてご理解いただけたのではないかと思われます。

（2）季節展示「ひなまつり」の実施結果について

2月15日より3月9日までの20日間、資料館付設の古民家を会場に、家の伝統行事として永く受け継がれてきた「ひなまつり」の成立起源や変遷を紹介する季節展示「ひなまつり」を開催いたしました。

展示では、各地域のひな飾りを展示し、行事本来の意味やそこにこめられた願いを紹介しました。会期中の観覧者数は278名で、行事本来の姿を次代への継承する一助となったのではないかと考えています。

（3）体験講座「絵馬づくり」の実施結果について

2月22日に開催しました体験講座「絵馬づくり」では、絵馬を奉納する習俗について学んだ後、市指定文化財「西袋・柳之宮氷川神社絵馬」の見学とオリジナル絵馬の製作体験を行いました。当日の参加者は23名でした。古来の生きた馬を神仏に献納するならわしが源流とされる絵馬は、時代とともに変化を遂げながら今に伝えられています。日常生活に溶けこんだ伝統的な習俗を知りたいことは、日本人の精神文化を伝えることにもつながったのではないかと思っています。

（4）資料館講座「村の争い～江戸時代大原村一件～」の実施結果について

3月16日に開催しました資料館講座「村の争い～江戸時代大原村一件～」では、市内外から21名の参加がございました。

今回の講座は、江戸時代の訴訟制度を紹介する内容でしたが、テキストに地元の古文書を用いたことで、受講生の方には親近感をもって聴講いただけたようでした。歴史の教科書ではあまり触れられることのない、赤裸々な庶民の生活を

知ることで、江戸時代の村での生活に想いを馳せていただけたのではないかと
考えております。

●山内教育部副部長兼学務課長

(1) 人事評価 最終結果報告について

教職員の人事評価につきましては、教職員の資質及び能力の向上を図ることにより学校の教育力を高め、教職員が協力して児童生徒を伸び伸びと健やかに成長させることを目的として毎年実施しているもので、資料は令和6年度の職名別最終評価の結果分布です。

最終評価はAからDまで、A評価が最も良い評価であり、B評価が標準的な評価段階です。職種毎の評価の分布等につきましては、資料のとおりです。

(2) 学校給食について

給食費についてご報告します。令和6年4月から令和7年2月までの小学校の収納率は「99.86%」、中学校は「99.81%」、小中学校合算の収納率は「99.84%」、未納額は「437,446円」でございます。

各学校におかれましては、集金に対し引き続きご理解とご協力をいただいている、高い収納率が保たれているところでございます。

続いて、3月24日に開催しました、令和6年度第4回八潮市学校給食審議会の結果についてお知らせします。

審議会では学校給食センターの候補地について、現時点で八潮高校の跡地の一部がその候補として挙げられる旨ご説明しました。埼玉県の発表によりますと、現在の八潮高校の跡地には特別支援学校の設置を見込んでおり、開校予定は令和12年4月とのことです。特別支援学校となると、現在のような広いグラウンドは必要なくなると想定されるため、その一部を本市の給食センターの設置で使わせていただきたいと考えております。この背景には、現在の八潮高校の土地の一部について、開校前に八潮市が土地を提供した経緯があり、どのくらいの面積になるのかは不明ですが、この機会に返還をしていただけることを期待しての候補地でございます。

これまで長い間、候補地の選定に向けた調整を続けてまいりましたが、今回の土地のほかに候補は見つかっておりません。面積は確定していませんが、確保できる土地としては1か所であるため、実現可能な方式としましては、「複数設置する」という条件を考慮し、「土地1か所に一つの建物を設置し、その中を壁で物理的に区切り、実質的に複数設置と同様の仕様とする」「土地1か所に2つの建物を設置し、別々に運営する」という方式に限られます。しかし、「土地1か所に2つの建物を設置し、別々に運営する」方法は、コスト面では不利になることが懸念される声が審議会の中で多く挙がりました。

埼玉県では、今後、特別支援学校の計画を具体化させていく模様ですが、どのくらいの土地が返還されるかの結論はしばらく先になってしまいうようです。このため、面積は不確定ながら、場所は一旦決定して、今後、議論を進めいくことになるものと捉えております。

この他、給食センターに必要な機能等につきましてもたくさんの意見が出されました、詳細につきましては次回以降にお知らせいたします。

●和田小中一貫教育指導課長

(1) 令和7年2月・3月 事件・事故報告について

合計8件で、内訳は、暴力行為3件、不審者情報1件、校内事故による救急搬送2件、虐待疑い2件でした。救急搬送2件は、鬼ごっこ中の怪我と、体育授業中の怪我で、双方とも病院で適切な処置を受け、その後問題なく学校生活に復帰しております。

(2) 令和6年度埼玉県公立高等学校入学者選抜結果等について

中学校3年生の進路についてご報告します。卒業式時点で進路が決まっておらず、その後公立や私立の二次募集を受けた子たちもいましたが、結果として進学・就職に至らなかった人数は、八潮中学校3名、大原中学校5名、八條中学校0名、八幡中学校1名、潮止中学校1名でした。

(3) 令和6年度八潮市立小学校六ヶ年、小中学校九ヶ年無欠席児童生徒について

令和7年3月8日に、八潮ライオンズクラブ主催の無欠席児童生徒の表彰式が執り行われました。令和6年度は、小中学校併せて66名が受賞となりました。

(4) 令和7年度会計年度任用職員について

令和7年度、小中一貫教育指導課採用会計年度職員の配置についてご報告いたします。全69名を、各学校及び教育相談所へ配置予定です。昨年度との主な変更点としましては、令和6年度に中学校へ5名配置していた「語学指導補助員」を令和7年度は0名として、小学校のみの配置とする予定です。また、令和6年度に中学校へ5名（1校1名）配置していた「さわやか相談員」を、新たに3名採用し、小学校へ配置します。ブロックごとに配置するため、小学校6校へ勤務予定です。「スタディサポートスタッフ（不登校など様々な理由から教室へ入ることができない生徒が別室で学習を進める際の学習支援のスタッフ）」も中学校へ新たに3名配置します。

(5) 令和7年度八潮市小中一貫教育推進体制構想図（案）について

令和7年度の小中一貫教育を進めるための構想を策定しました。各学校から1名の教員が参加する部会（けいかく・まなび（学力）・こころ・しえん・ＩＣＴでは、現在八潮市が抱える問題の対応に加え、今後10年間を見据えた様々な取り組みについて、顧問の先生方とも意見交換をしながら進めてまいります。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

事件事故報告の虐待疑いについて、児童相談所の介入はあったのでしょうか。

●和田小中一貫教育指導課長

虐待疑いは2件ございましたが、いずれも市の子ども家庭支援課の職員と早期の段階から連携し対応してまいりました。2件のうち1件は草加児童相談所にご協力いただき、一時保護となりました。もう1件につきましては、子ども家庭支援課の職員が家庭訪問をし、保護者と話し合い、現在は様子をみている状況でございます。

○加藤教育長職務代理者

令和7年度ICT研修計画についてお聞かせください。八潮市はICTのレベルが他自治体と比較して高水準にあると聞いていますが、他自治体からやつてくる先生方から、難易度の高い研修があって大変だという、不満の声などは挙がらないのでしょうか。

●猪原教育部理事

他自治体の教員に話を伺うと、八潮市は明確に目指すものがあり、教員からすれば吸収できるものが多く、また、市内で同じ方法・方向で推進しているため、分からぬ教員へのサポート体制も整っており、逆に、八潮市への配属を希望する声をよく聞いております。

○高橋委員

ICTの情報活用能力体系表について、これは子どもたちに対し評価を付ける基準になっているものでしょうか。

●松本教育総務課長

学習の進捗に応じて目指すべき目標を記載したものであり、評価を決める意味合いのものではないと認識しております。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。